

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年7月10日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	ミクロン精密株式会社
【英訳名】	MICRON MACHINERY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 榊原 憲二
【本店の所在の場所】	山形県山形市蔵王上野578番地の2
【電話番号】	023(688)8111
【事務連絡者氏名】	管理部管理課課長 山口 洋子
【最寄りの連絡場所】	山形県山形市蔵王上野578番地の2
【電話番号】	023(688)8111
【事務連絡者氏名】	管理部管理課課長 山口 洋子
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期連結 累計期間	第54期 第2四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自平成23年 12月1日 至平成24年 5月31日	自平成24年 12月1日 至平成25年 5月31日	自平成23年 12月1日 至平成24年 11月30日
売上高(千円)	2,633,093	1,518,258	5,560,478
経常利益(千円)	655,386	637,782	1,494,037
四半期(当期)純利益(千円)	370,193	397,389	875,540
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	426,071	777,670	1,158,030
純資産額(千円)	5,747,672	7,113,235	6,479,631
総資産額(千円)	8,099,195	9,448,268	9,034,854
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	167.63	181.15	397.37
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.8	75.0	71.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	867,879	335,717	937,431
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	631,178	98,485	718,584
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	292,189	366,718	65,442
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	375,750	751,805	740,610

回次	第53期 第2四半期連結 会計期間	第54期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	99.86	105.90

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策効果による期待感から円安と株価の回復が進み、明るい兆しが見られたものの、欧州債務問題をはじめとした不安材料等から、景気は先行き不透明な状況で推移しました。

当工作機械業界におきましては、内需、外需とも前年同期を下回る受注状況となりました。

このような経営環境の中において、当社グループ（当社及び連結子会社）は、アメリカ、新興国をはじめとした海外への販売展開の強化を図るとともに、市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行いながら、全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,518百万円（前年同期比42.3%減）、営業利益は148百万円（前年同期比75.6%減）、経常利益は637百万円（前年同期比2.7%減）、四半期純利益は397百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、研削盤の単一セグメントであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、751百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は335百万円（前年同期比61.3%の減）となりました。

これは主に、法人税等の支払額556百万円、たな卸資産が394百万円増加したものの、売上債権が770百万円の減少、税金等調整前四半期純利益を637百万円計上したことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は98百万円（前年同期比84.4%の減）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入が207百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出が204百万円、投資有価証券の取得による支出が100百万円があったことによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は366百万円（前年同期比25.5%の増）となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額221百万円、配当金の支払額109百万円によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、23百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,000,000
計	9,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,568,700	2,568,700	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,568,700	2,568,700	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	2,568,700	-	651,370	-	586,750

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
ミクロン精密社員持株会	山形県山形市蔵王上野578- 2	267,070	10.39
榊原憲二	東京都世田谷区	99,890	3.88
株式会社山形銀行	山形県山形市七日町3丁目1- 2	95,000	3.69
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6- 6	95,000	3.69
株式会社きらやか銀行	山形県山形市旅籠町3丁目2- 3	90,000	3.50
小松貞生	山形県山形市	85,500	3.32
白田 啓	山形県山形市	84,500	3.28
あいおいニッセイ同和損害保険株式 会社	東京都渋谷区恵比寿1丁目28- 1	75,000	2.91
ミクロン精密取引先持株会	山形県山形市蔵王上野578- 2	66,500	2.58
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505104	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A.	66,003	2.56
計	-	1,024,463	39.88

(注) 上記のほか、自己株式が385,455株あります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 385,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,182,600	21,826	-
単元未満株式	普通株式 700	-	-
発行済株式総数	2,568,700	-	-
総株主の議決権	-	21,826	-

## 【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ミクロン精密株式会社	山形県山形市蔵王 上野578番地の2	385,400	-	385,400	15.00
計	-	385,400	-	385,400	15.00

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	642,357	599,223
受取手形及び売掛金	1,634,431	911,449
有価証券	291,706	934,307
半製品	224,646	226,540
仕掛品	708,412	1,125,942
原材料及び貯蔵品	273,262	252,165
繰延税金資産	61,104	83,091
その他	83,428	91,836
貸倒引当金	774	662
流動資産合計	3,918,576	4,223,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	770,134	804,989
機械装置及び運搬具(純額)	171,130	157,851
土地	445,406	447,630
建設仮勘定	259,983	388,010
その他(純額)	29,808	30,570
有形固定資産合計	1,676,463	1,829,051
無形固定資産	8,005	7,111
投資その他の資産		
投資有価証券	3,347,547	3,313,244
繰延税金資産	1,291	-
その他	83,862	76,065
貸倒引当金	892	1,100
投資その他の資産合計	3,431,809	3,388,210
固定資産合計	5,116,278	5,224,373
資産合計	9,034,854	9,448,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	112,019	207,311
短期借入金	1,334,700	1,112,850
未払法人税等	544,340	247,131
賞与引当金	-	119,238
役員賞与引当金	11,000	-
製品保証引当金	43,469	23,163
未払金	163,629	114,964
その他	270,450	409,492
流動負債合計	2,479,610	2,234,151
固定負債		
繰延税金負債	1,050	49,673
退職給付引当金	52,192	30,637
長期未払金	22,370	20,570
固定負債合計	75,612	100,880
負債合計	2,555,222	2,335,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,370	651,370
資本剰余金	586,750	586,750
利益剰余金	5,927,497	6,215,013
自己株式	751,645	786,775
株主資本合計	6,413,971	6,666,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252,803	530,737
為替換算調整勘定	212,549	113,515
その他の包括利益累計額合計	40,253	417,221
少数株主持分	25,406	29,655
純資産合計	6,479,631	7,113,235
負債純資産合計	9,034,854	9,448,268

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	2,633,093	1,518,258
売上原価	1,665,442	1,016,172
売上総利益	967,650	502,085
販売費及び一般管理費	358,540	353,503
営業利益	609,110	148,581
営業外収益		
受取利息	34,794	31,067
補助金収入	319	852
投資有価証券償還益	-	35,550
投資有価証券評価益	-	51,348
為替差益	14,254	345,274
その他	6,072	27,380
営業外収益合計	55,439	491,474
営業外費用		
支払利息	1,844	1,710
投資有価証券評価損	7,255	-
保険解約損	-	507
その他	63	55
営業外費用合計	9,163	2,273
経常利益	655,386	637,782
特別利益		
固定資産売却益	925	259
特別利益合計	925	259
特別損失		
固定資産売却損	219	132
固定資産除却損	7,457	29
特別損失合計	7,677	162
税金等調整前四半期純利益	648,635	637,880
法人税、住民税及び事業税	303,545	252,143
法人税等調整額	41,971	8,785
法人税等合計	261,574	243,358
少数株主損益調整前四半期純利益	387,060	394,522
少数株主利益又は少数株主損失( )	16,867	2,867
四半期純利益	370,193	397,389

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	387,060	394,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,717	277,933
為替換算調整勘定	6,293	105,214
その他の包括利益合計	39,010	383,148
四半期包括利益	426,071	777,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	409,890	774,357
少数株主に係る四半期包括利益	16,180	3,313

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	648,635	637,880
減価償却費	80,678	71,918
貸倒引当金の増減額(は減少)	138	167
賞与引当金の増減額(は減少)	171,689	118,166
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,000	11,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,297	21,555
受取利息及び受取配当金	38,392	34,836
支払利息	1,844	1,710
為替差損益(は益)	16,427	364,697
製品保証引当金の増減額(は減少)	-	20,306
投資有価証券評価損益(は益)	7,255	51,348
有形固定資産売却損益(は益)	706	127
有形固定資産除却損	7,457	29
有形固定資産から売上原価への振替	1,367	2,007
売上債権の増減額(は増加)	86,615	770,182
たな卸資産の増減額(は増加)	61,574	394,733
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,272	4,159
投資その他の資産の増減額(は増加)	1,597	8,229
仕入債務の増減額(は減少)	27,613	93,986
未払消費税等の増減額(は減少)	37,533	23,545
その他の流動負債の増減額(は減少)	159,270	72,341
その他	88	1,689
小計	856,168	848,285
利息及び配当金の受取額	49,074	46,242
利息の支払額	1,764	1,970
法人税等の支払額	35,598	556,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	867,879	335,717
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	262,016	-
定期預金の払戻による収入	244,726	-
有形固定資産の取得による支出	125,277	204,073
有形固定資産の売却による収入	2,132	264
無形固定資産の取得による支出	1,770	498
投資有価証券の取得による支出	1,017,447	100,517
投資有価証券の売却による収入	529,210	207,338
有形固定資産の除却による支出	736	-
関係会社株式の取得による支出	-	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	631,178	98,485

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	123,000	221,850
配当金の支払額	100,432	109,738
自己株式の取得による支出	68,757	35,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	292,189	366,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,152	140,681
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	52,336	11,195
現金及び現金同等物の期首残高	428,087	740,610
現金及び現金同等物の四半期末残高	375,750	751,805

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年5月31日）

（1）連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

（2）持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年5月31日）

（減価償却方法の変更）

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年5月31日）

該当事項はありません。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年12月1日 至平成24年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年5月31日）
製品保証引当金繰入額	9,976千円	1,651千円
役員報酬	29,280	35,218
給料手当	101,977	110,092
賞与引当金繰入額	43,315	31,574

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年12月1日 至平成24年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年5月31日）
現金及び預金勘定	525,193千円	599,223千円
預入期間が3か月を超える定期預金	184,339	-
有価証券勘定	422,134	934,307
償還期間が3か月を超える債券等	387,237	781,725
現金及び現金同等物	375,750	751,805

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月24日 定時株主総会	普通株式	100,442	45.00	平成23年11月30日	平成24年2月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成23年7月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読替えて適用される同法第156条の規定に基づき、大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)における市場買付けの方法により自己株式を取得することを決議し34,600株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が68,757千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月25日 定時株主総会	普通株式	109,873	50.00	平成24年11月30日	平成25年2月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成25年4月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読替えて適用される同法第156条の規定に基づき、大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)における市場買付けの方法により自己株式を取得することを決議し14,100株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式は、単元未満株式の買取りによる増加121株を含め35,129千円増加しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、研削盤の製造及び販売を事業内容とする単一事業区分であるため、記載を省略しておりません。

(金融商品関係)

事業の運営において重要なもの、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはありません。

(有価証券関係)

当社グループの所有する有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	167円63銭	181円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	370,193	397,389
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	370,193	397,389
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,208	2,193

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月10日

ミクロン精密株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 押野正徳 印  
業務執行社員  
指定有限責任社員 公認会計士 高嶋清彦 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミクロン精密株式会社の平成24年12月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミクロン精密株式会社及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。